

東海・近畿ブロック農業大学校生 研究及び意見発表会に参加



研究発表を行う中川君

平成24年1月19～20日に、奈良県桜井市において「東海・近畿ブロック農業大学校生研究及び意見発表会」が開催されました。近畿2府4県に岐阜、愛知、三重を加えた9府県の農業大学校から代表の学生が参加しました。

京都府からは、研究発表では2年生の中川高志君が「トマトを中心とした複合経営の実践および収益向上の検討」として、1年間取り組んできたプロジェクトの成果を報告しました。

意見発表では1年生の河嶋政樹君が「自分を変えてくれた祖父と農業」と題し、農業の担い手になる強い決意を発表しました。

2日目には、現地視察で明日香村のイチゴ栽培など農業経営の実践事例を学ぶとともに、各県農大生との交流も深めました。